

隣の巨乳人妻のパイズリ

俺、波山周平のお隣の寺鞠家は、
司さんと早苗さんの二人暮らしだ。

早苗さんは、
とてつもなく、
いい女だった

はあっ
はあ

いつか、
隙を見せたら……
その隙が、あんな
露呈するとは





早苗さんこそ……
こんな昼間っから何
やってたんですか？

ねえ早苗さん、
こんな大きなバイブ
を使って……

うう……

もしかして
司さんのじゃ
物足りない？

俺の、
このバイブと
同じくらい
あるんだ



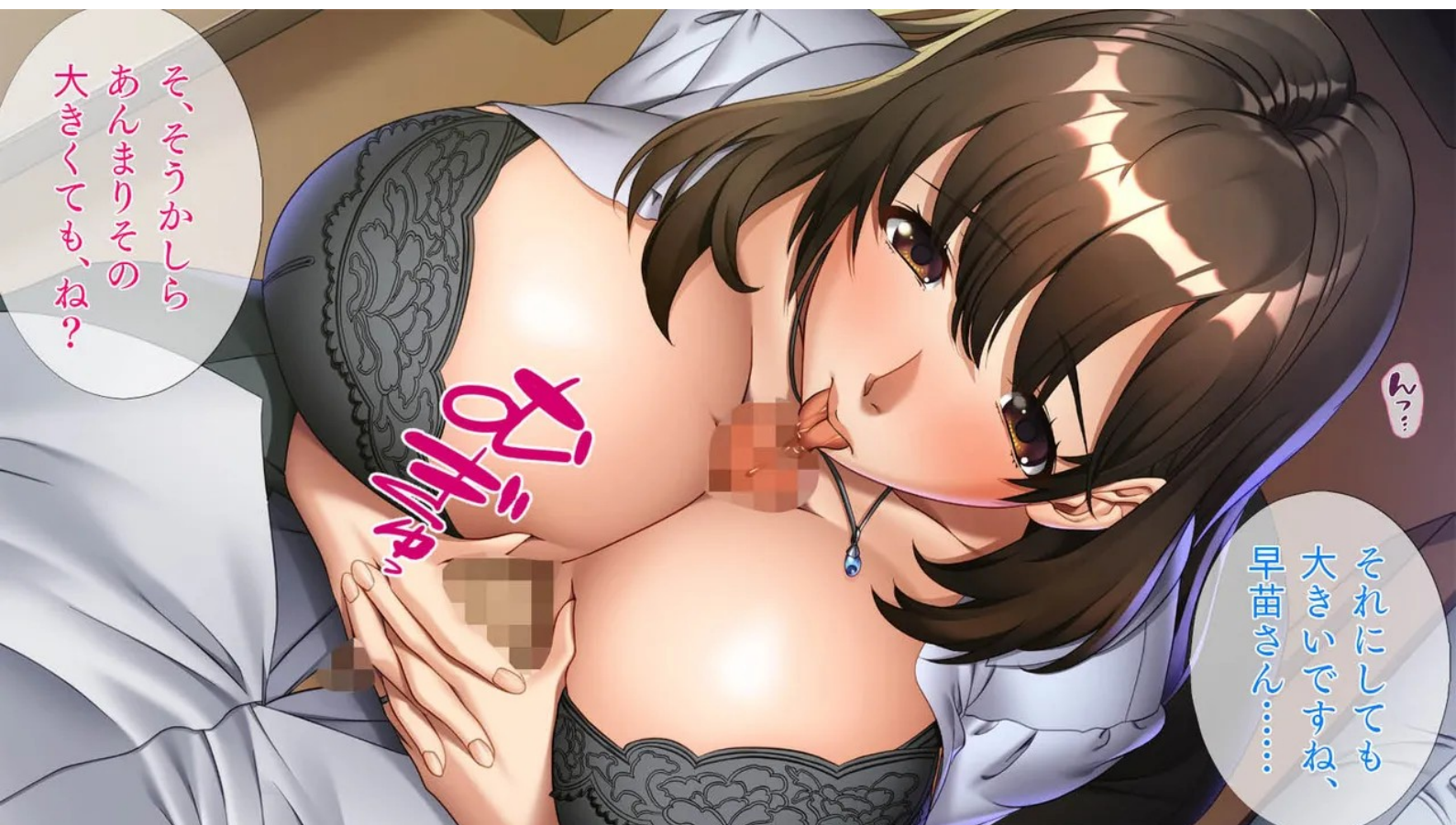
早苗さん、
胸使ってよ

それとも、
司さんに言って
おこうか？

ああ
それがいい
ですね

わ、わかった！
わかったから……





そ、そうかしら
あんまりその
大きくても、ね？

おっぱい

それにしても
大きいですね、
早苗さん……

んっ…



こゝこれで
動かせば
いいのよね

ちゃんと
舌も使って
くださいね

むいーん

んん

んん

んっ...

わかって
るわよ



上手いじゃない
ですか、これなら
すぐにイケそうだ

れろ……は、
んれオ、はあ



あれ？
もしかして
早苗さん……っ

ふむっ……
んる、るろお
……んっ



ずっと犯し
たかったんだ
早苗さんの胸

いつも
いやらしく
揺らして

本当は
誘ってたん
でしょ？

そんなこと？
んぶっ!?

ぐわん

ぐわん

ぐわん



も、もうひや
……まら、
らろお？

いくらなんでも
速すぎますって、
あ、まさか司さん

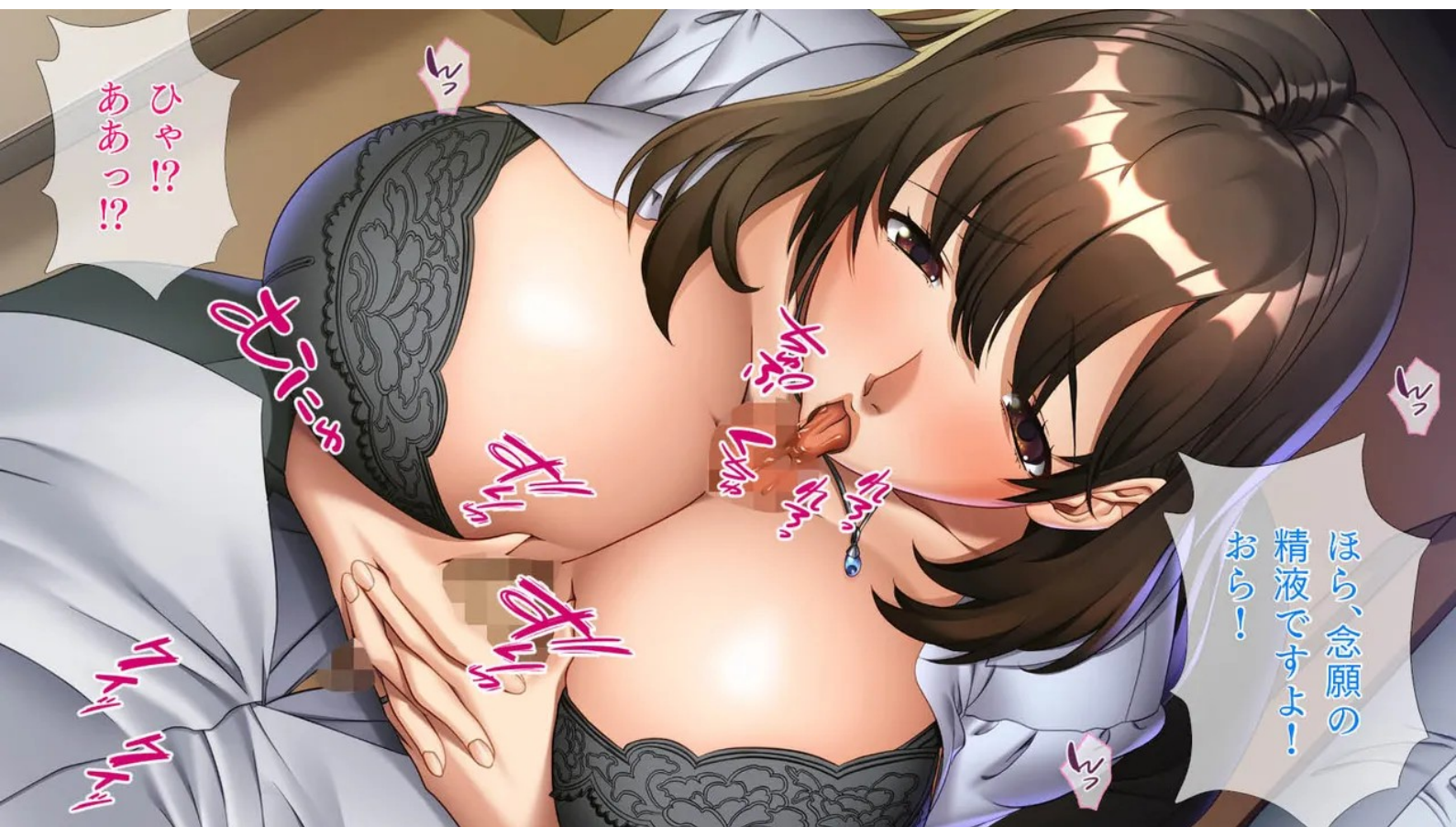
ちゅかしや
しやんの
はにやしは、
ひやめ！



ひいッ!?
いいきなり
なにを!?

何って、
早く射精して
ほしそうだから

ごめんごめん、
しょうがないなあ



ほら、念願の
精液ですよ！
おら！

ひゃ!?
あぁっ!?

ぐにゅ

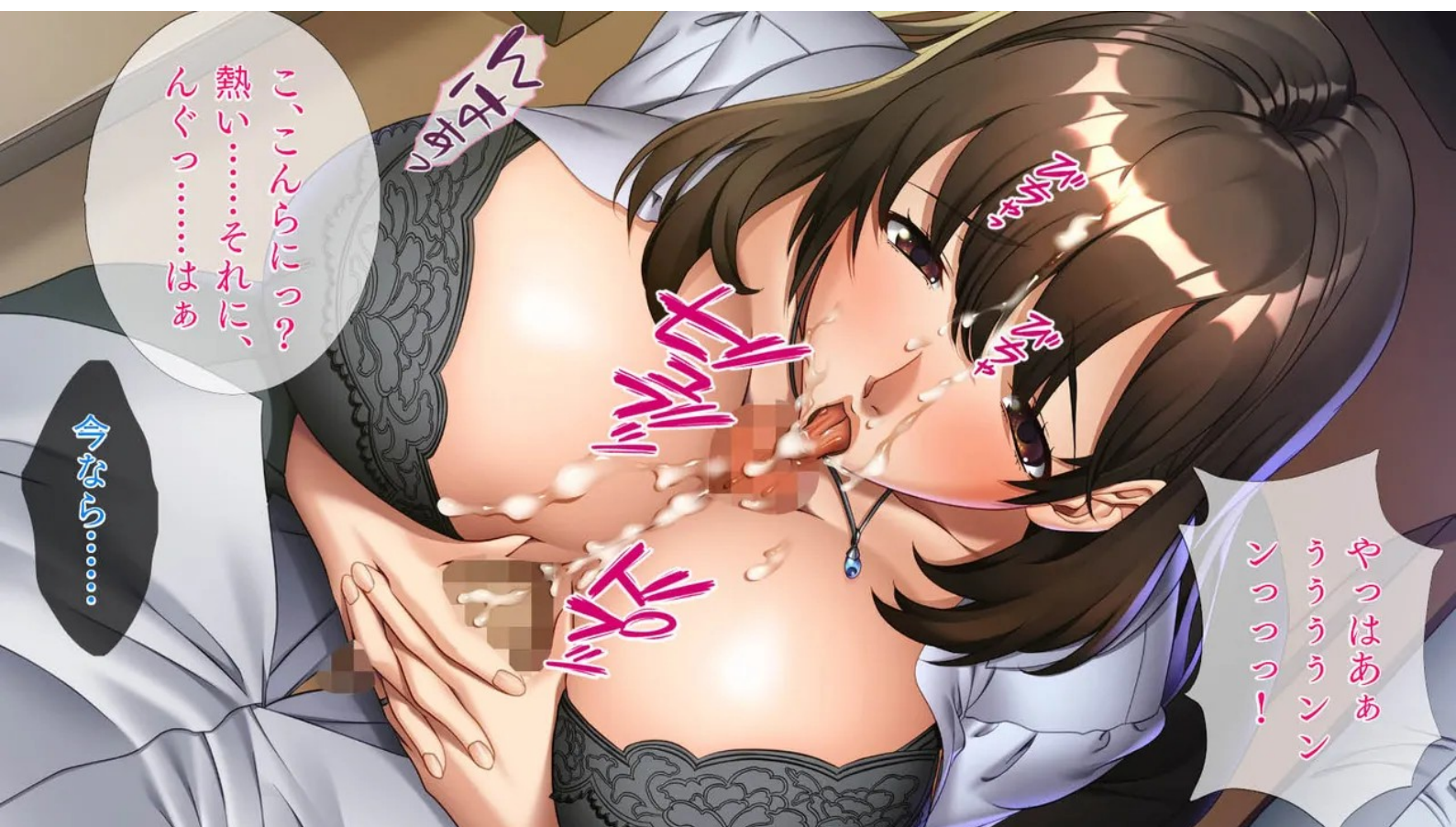
ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ
ぐにゅ
ぐにゅ
ぐにゅ





やつはああ
ううううン
ンっっっ！

ここ、こんなにっ？
熱い……それに、
んぐっ……はあ

今なら……



俺は素早くポケットからスマホ出すと、
グチャグチャの早苗さんを収めた。
司さんに見られなくなかったら……
いっぺん言ってみたかったんだ。

何の用かしら？
こんな時間から

んっ…

たっ…

また、早苗さんを
楽しませてやろうと
思ったんですね



最後の一線は
越えないからさ

……本当に、
越えないって
約束できる？

じゃあ、まずは
下着姿を見せて
もらいましょうか

もじ

うん

もじ





いいねえ

あんまり
見ないで
ちようだい

んっ...

おっぱ

おし

いやいや、
見るために
脱がしたん
っすよ？

もっと
じっくり見せて
くださいよ

こんな身体、
見たって楽しく
ないでしょ

そんなこと
ないっすよ
いい身体して
ますって

からかわないで
ちようだい、胸も
お尻も垂れてるし
お腹だって……

カシ

おは

カシ...

カシ...

んっ...



からかってない
ですって、俺は本気で
早苗さんの身体を
良いと思ってますよ

んっ...

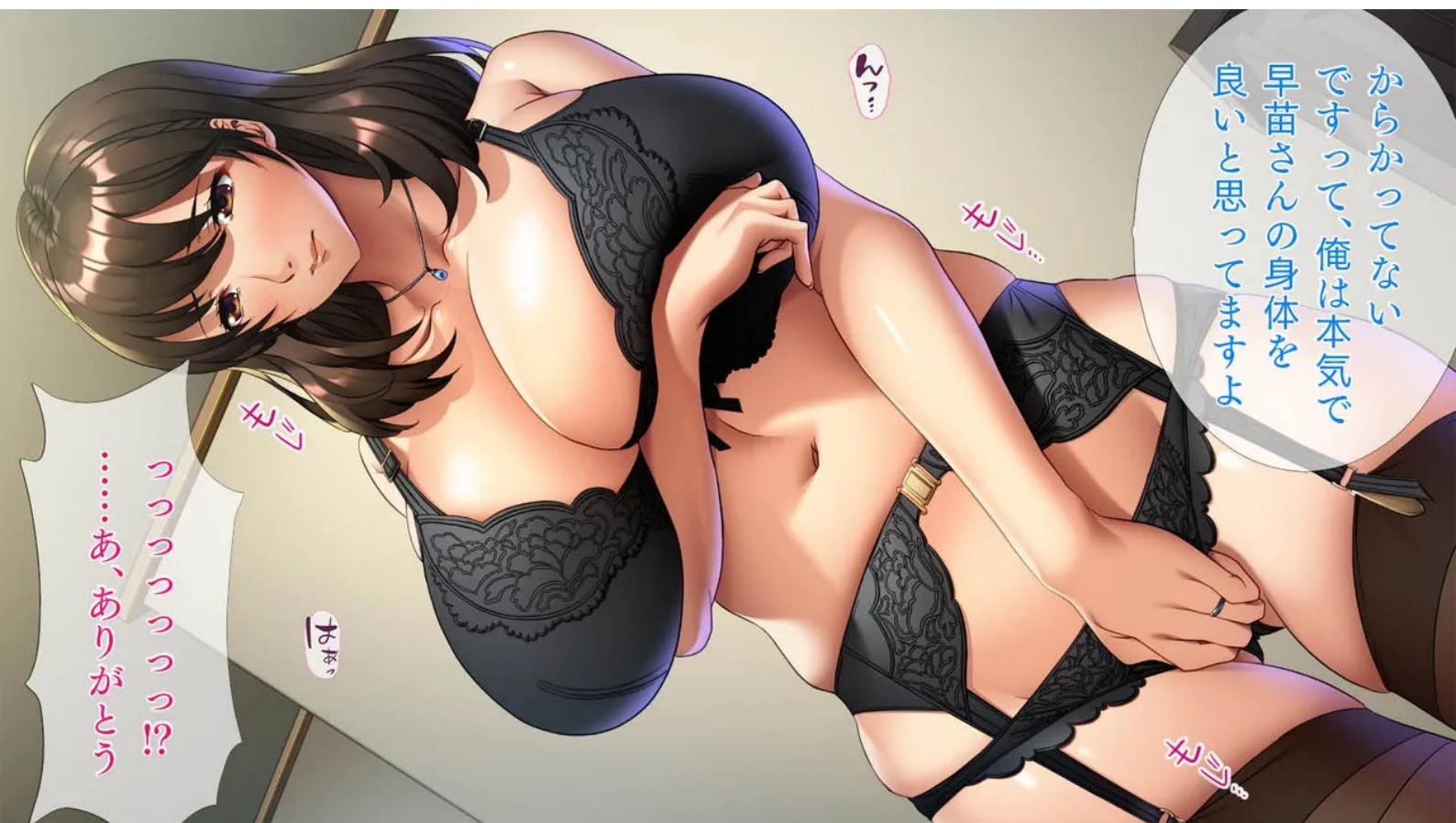
やっ...

やっ...

やっ...

やっ...

……あ、ありがとう
つつつつつつ!!?



でもここまで
くるとこの中も
見てみたいな

脱ぎたく
なるようにして
あげましょうか？

おは

おは

おは...

ん...

.....わかったわよ





や、やっぱり
こう見られると
……その

恥ずかしい？

……うん

……うん

……うん

……うん

……うん

……うん

その、やつぱり
こ、これ……その

早苗さん、
もう少し姿勢良
してください

んっ…

やっ…

やっ…

やっ…

おっ…

で、でも、
流石に恥ずか
しいわよ



勿体ないですって、
それに従っておいた
方がいいですよ？

おは

おは

おは

おは

おは

こう……
かしら？

んっ…





シヨーツも

カシ...

カシ

カシ...

ん...

下.....は.....
いえ、なんでも
.....ないわ

カシ

あれ？
早苗さんって
処理してるの？

あゝ

やん...

げん

やん...

ああゝ

やん

ち、ちが!?
これはその.....
もともとで.....

早苗さん、
こんなふうに

んん...

んん...

んん...

んん...

んん...

じっくり
見られたこと
ありますか？

んん...

へえ？
思っていたより
匂い薄いですね

おっ

おっ

ああもう堪んねえ、
このまま太ももでも
舐めたくなってきた

おっ

んん

んん

んん



太ももから
少しずつ上に
向かってさ

ツーって、
少しずつ
少しずつ

俺を見下ろす
早苗さんの
吐息がどんどん
荒くなっていく



もう何もせず、
ただ見るだけ

乱れる息には
声が混じり

もはや発情して
いることは隠せ
ていない……

あれ？ 早苗さん、
下の方からなーんか
……垂れてるよ？







しゅくしゅく

おは

おん...

しゅく...

しゅく...

おん...

おは

おん

おは

早苗さん、
もう俺、我慢
できないや

だ、だめ、一線は
越えないっていう
約束でしょ……

だったら、
オナニーを
見せてよ

早苗さんが
オナニーを見せて
くれたら

俺、
それで我慢
しますから



私が、
一人でして……
周平くんは？

早苗さんの
オナニーを
見ながら
しようかな

ほら、
早苗さんも
してくださいよ、
早く

んんん

んんん

んんん

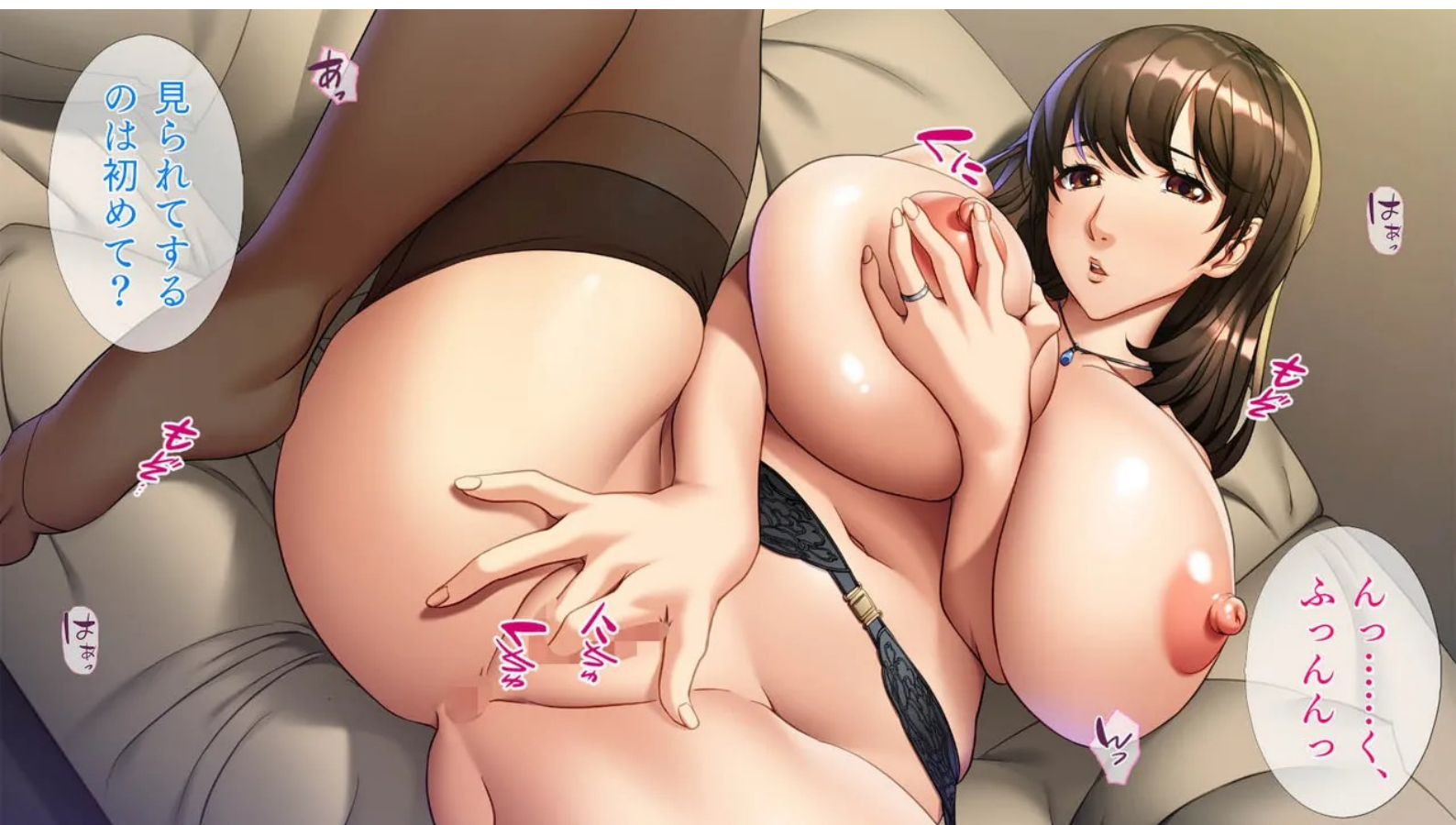
んんん

んんん
んんん

んんん

んんん





あ、

あ、

んっ

んっ……く、
ふっんんっ

見られてする
のは初めて？

あ、

んっ

んっ
んっ



あ

当たりま、えで
……しょんっ！
はっ！

へえ、司さんの
前でもしたこと
無いんだ

はふっくっんっ
した、こと……
ない、わ……っ！

おは

んっ

おは



ちゅ

早苗さん、もつと
いつもみたいに
してくださいよ

あ

ちゅ

い、いつもって
……どういう
意味かしら？

ん

いつもの
オナニーって
言ってるん
ですよ

ちゅ

ちゅ

ちゅ



いっ

そ、そんなことは
あの……今、して

あ

あ

あ

あ

あ
あ

嘘だね、道具は
ないですけど、
いつもはもっと
激しいでしょ？

あ

いいじゃないですか
いつものオナニー
見せてください

あ



はひい……っ!!
んくふっ……!!

へえ、いつもは
そんな風にして
いるんですか

エロい
ことして
ますね



あ

いやあ、
言わないで
ちようだいっ

は

……い、
いつもはこ
んなっ

こんなじゃない？
ってことは
いつもより興奮
してるんですね

そんな
こ、ことない……
わっ、ああいやあ

さ

さ

さ

い



見てくださいよ、
早苗さんの日常で
こんなに膨らんで
るんですよ？

ひッ!?
な、なんて大きさ
なの……!?

早苗さん、
そろそろイキたく
なりました？



はっ

いやあ、
イキたくないっ！
私、わたしっいん

なら
手を止めて
みろよ

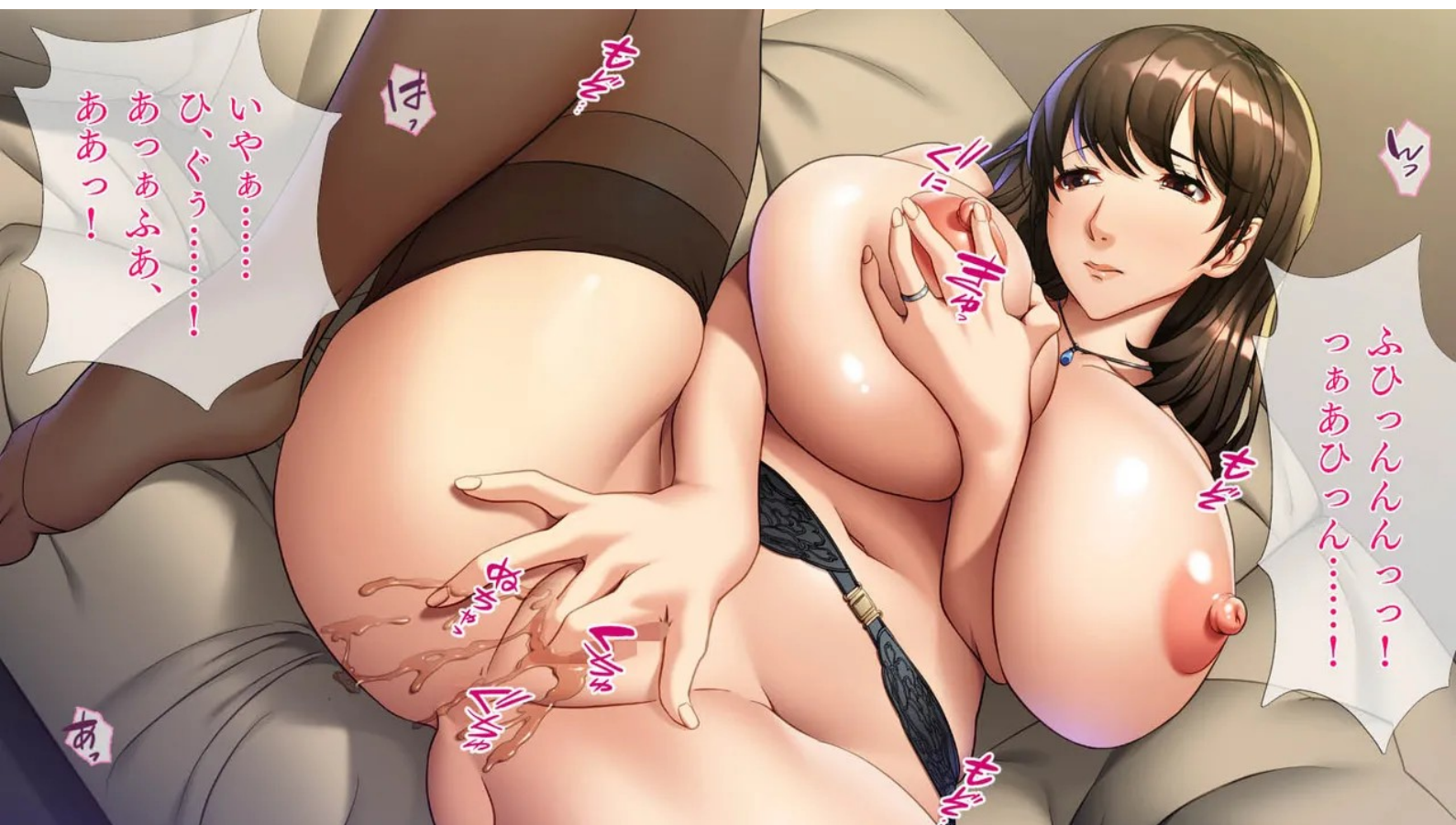
まあ止めたら
わかってる
だろうけど……

どっちも嫌よ……！！
ああでも、でももう
げ、限界だわっ

あ

いっ





いっ

ふひっんんっつ!
っああひっん……!!

さっ

ぐっ
ひっ
さっ

さっ

さっ

はっ

いやあ……
ひ、ぐう……!!
あっあふあ、
ああっ!

あ

さっ
さっ
さっ
さっ



はっ

ああっ！
だめっ、わたし
……私、いつ、いく、
いつちやう！

さぶ

さぶ

さぶ

周平くん、
あっ、ああっ！

あっ

早苗さんっ！

さぶ

さぶ

さぶ

さぶ

んっ





いいぐう……！
な、なにこれ……！

ぐわん

ぬる

ぐわん

こんなの、し……
しらない……！
イックウ！



ああ……ハア！
はあはあ……

ずいぶん
盛大にイッちゃ
いましたね、
早苗さん

どうしてこんな……
酷すぎ……る、わ？
し、周平くん？

んっ……

グッ……

グッ……

ぬ
ちゅ……

グッ……

おあ

おあ



んっ...

でもごめん、
まだ満足でき
ないわ

約束が違うでしょ！
オ、オナニーだけで
満足するって言った
じゃないっ……！！

あ！
周平くんっ
だめ！
あ……！！

んっ
んっ



おちっ

ぬるるる...

くっ、ああ
早苗さんの
膣内あつ



なんで挿れて
……やめてえ、
抜いてちょう
だいっ

おっ

たしか早苗さん
が使ってるのは
このくらいです
よね？

△
ぶ
ぶ
ぶ
ッ

にゅ

にゅ



ああっ！
いやっ、
ちが……

ぬるっ
ぬるっ

ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ

ンアアッ！
そこはダメ、
えひっ！

なるほどね、
この辺かな？

あっ、はひっ！
くふ、あ、あああ！

あ

いっ

はっ

んん

んん



俺の、
すごく大きい
でしょ？

ぬるっ

ぬるっ

にゅん

ぬるっ

にゅん

そんなこと、ない
け、どっ……でも
こんな、いきなり！

はっ

とか言って
すげえ締め付け
ですね

いっ

ほらっ
ご期待の
生肉ですよ

どんだけ
飢えてたん
ですか？

あっ



はっ

ほんと
勿体無い
ですね

あ

ン
ン
ツツ
……
アッ!

ふひん!
あひっ!

なんで司さんは
コレを放って
おけたんだか

ん

ぬるる
ぬるる
ぬるる

ぬるる

にゅる

にゅる









あ、
そんな……あつ、
お願いっ止まつッ
……てヘエツッ！

あ、
はげ、
し……っ！
しゅ、へ……
くん！

あ、
あんたは
旦那の短小でも

あ、
自前のおもちやでも
満足できない淫乱女
なんだよ……



そんな
ことないっ！
淫乱なんか
じゃない！

だったら少しは
耐えてみろよ！
さっきから何回
イってんだ？

やっ！
ああっ！
あひっ、ふ、
んん！





セリッ

あっ、
あひあつ……っ!!
ああンンッッ!

セリッ!

いやああつ!
ああつ!

セリッ

セリッ
セリッ
セリッ

セリッ
セリッ
セリッ

ふふっ

ぐじゅっ



はっんンッ!
んあッはあ……

ふう、早苗さん、
次は俺の……
早苗さん？

あー……
最初から飛ばし
すぎたかな

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

びく
びく

びく

びく

ゴッゴッ
ゴッゴッ

ま、いつか、早苗さん
また来ますね。

それと早く片付けないと、
司さんにばれちゃいますよ。



お風呂で立位セックス

あの……
昨日みたいな
ことは、
もうやめて

もじ

うん

もじ

それなら……
お風呂で俺の
身体を洗って
もらおうかな

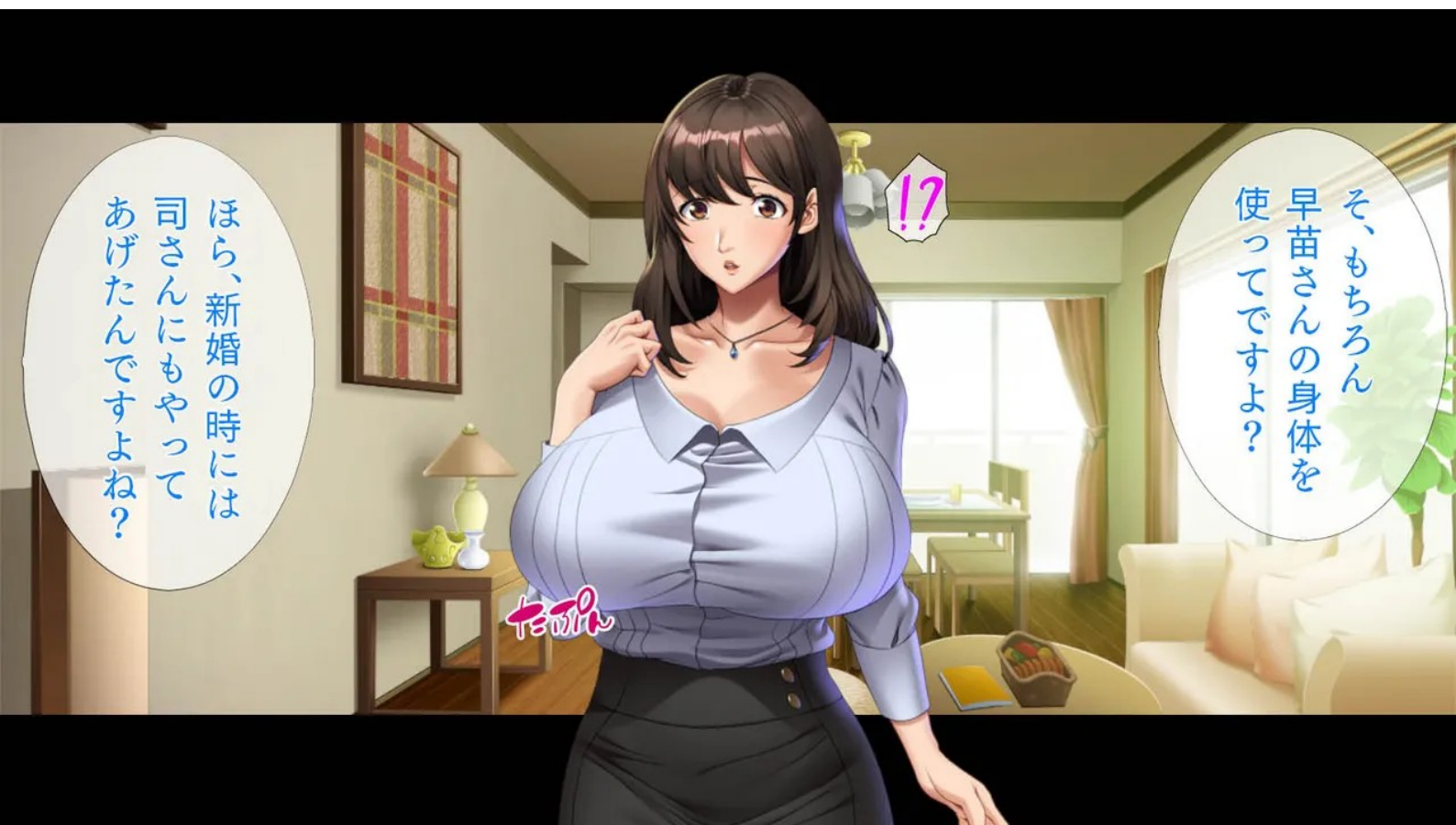
洗う……??
お風呂で?

そ、もちろん
早苗さんの身体を
使ってですよ？

!?

ほら、新婚の時には
司さんにもやって
あげたんですよね？

たぶん





こう、すれば
……いいん
でしょ？

へえ、
わかってるじゃ
ないですか

んっ…

おっぱい

早く、
終わらせたいっ、
だけよ

が

い

おっぱい





じゃあ俺がまた
早苗さんの初めてを
貰えちゃったかな

やらせているのは
周平くんじゃない、
黙っててちょうだい

んや

んや

んや

んや

んや

んや



お、そこそこ
上手い上手い

お、おつきい
……それに、
熱い……

うわぁ

うわ

うわ…

うわ

うわ

うわ



どうしました
早苗さん？
もしかして、
感じてます？

はぁっ
ツツツ!?
感じるわけ
ないで、しょ

こんな
ことしてっ

うわっ

うわっ
うわっ

んっ

うわっ

あ



ならもつと
くっつけて
くださいよ、
こうやってさ

嘘……
まだ硬く
なるの？

そんな
見惚れちゃって
可愛いですよ
早苗さん

おっ

ん

んんん

おっ

シロ
シロ...

あ



かわっ……!?
か、からかわ
ないでっ……

からかって
ないですよ、
本当に思っ
ていることす

ハウッ、
いいから早く
イッて……はっ

あ

うん

うん
うん
うん

うん

うん

うん



冷たいな、
こんなに身体は
熱いのにな

でもそろそろ
限界かも

射精
しますからね、
早苗さん！

手にぶちまけ
ますよっ！

え？
あ、きやああ
つつっ！

あ
うん
うん

うん
うん
うん

んっ















一回射精した
だけで満足する
わけないでしょ

私これ以上は
もう……

いやっ、お願い、
周平くん許して
イッたんでしょ？



ココも
こんなに
濡らして

いやらしい
液がダダ漏れ
じゃないか

や、やめてえんっ！
いや……ああんっ！

早苗さんの
あそこ、こんなに
汚れちゃって

んっ…



んっ…

ちが……！
こ、これは
違うの！

俺のを
しごいてるうちに、
いやらしい液が
漏れたんでしょ？

そ、そんなこと
ありえないわっ

ちが



おは

俺が洗って
あげますよ
ほら

ああでも
すぐに溢れて
きますよ？

さっ

さっ

さっ

んっ...

あ、ああっ！
そ、そこは.....
ハンッ！





ホント
やらしいよね
早苗さん

は？
こんな
コリコリに
しちゃって

こんなこと
……あつ！
されたら誰
だって……っ

んっ

やん

やん

やん

やん

やん

やん

やん

あ



そもそも
こんな事される
ような人妻が
いねーんだよ……

はひうつ！
つ、強……！！

もみもみ
せーいーや

あ

きん

い

きん

きん

は



早苗さん、
漏らしてます？
汚れていくじゃ
ないですか

や、やめてえ……っ！
私、いや、いやなのお

は、

やん

あ、

やん

やん

やん

やん

やん

ん





ほら聞いて
早苗さん

は？

イヤらしい
音がすごい
気持ちいいん
でしょ？

そんなこと
ないわっ！

こんな、
人のこと……
考えてない、
んああ！

そんな乱暴な
行為が好き
なんでしょ？

わかってるよ
早苗さん

あっ

せーにゃ
せーにゃ

さっ
さっ

しゅん
しゅん

やん
やん



お願いよお……っ
しゅうへいくん！
本当にイヤ、なのお

ほら、もう
バカになってる
みたいだ







早苗さんの膣内、
柔らかいけど、まだ
きついね、それが
気持ちいいんだけど

言わな……
あひっ!

しゅ、へ……
く、っっ!
そこだめ!

はっ
や、やめ……
はあうっ……!!

あ







あ、
言えないってば！
なんでそんなこと
言うの周平くん

あ、
もちろん
早苗さんが好き
だからだよ

え？
だ、だめよ？
嘘よね？

あ、
嫌嫌っ！
なんでもするから
それだけは許して！



私は周平くん
に中出しして
欲しいです！

言っ
たわ！
抜いて！

ならほら
早く言っ
て、
早苗さん

はいさーん
にーい、
いーち……

んひっ!?
な、なんで
……あう！



射精
しますよ！

早苗さんの
膣内に射精し
ますからね！

や、やめてっ！
いやいやっ……
ダメだめっ！













その言葉に、早苗さんは
背筋と膣内を小さく震わせた。



旦那さんの代わりにセックス

あ、いいこと
思いつきました

!?

な、何を……
周平くん!?

たぶん

俺は手早く早苗さんの手から
指輪を抜き取った。

俺のものを
司さんだと
思うのはどう
ですか？

何を言って……
きやあつ!!

こういう
ことだよっ！

騒ぐ早苗さんを抑えこみ、
俺は銀色の輪を、
思い切り膣穴に突き込んだ。

オッ
チャ





つつつつあ
ああああアア
アアアアアア!



よかった
ですね
早苗さん

や……こん、
こんなの……
ちが、うう！

司さんが
こんなに奥まで
来てくれました
よ！

にゅ
くちゅ
ぐわッ

ん

ん

ん



司さんとの
繋がりが

ぐわ
ぐわ
ぐわ

にゅ

あ

いっ

早苗さんが
欲しかった
所に来てくれ
てますよ

アヒッ!
アッアッ
……アッ!

見える
でしょ?

いっ

司さんのが
中に入っ
てるところ

いっ



違うわ！
これは……
ああッ、
周平くん、の

違うわ！
違いますよ、
司さんの
ものです

んいつ!?
はひっ!?

ぐ
ぶ
う

に
ん
に

く
ち
ゃ

ち
や
う

ち
や
う

あ
っ





よかったですね、
司さんに
イかせてもらえた
じゃないですか

でもまだ、
司さんは満足
してません
からね

ちが……っ!!
これ、こんな
や、やめてえ!

ズルッ

ズルッ

ズルッ

わっ

んっ

はっ



はっ

へヒイ!!?

いっ

優しいっ
優しいわっ!
司さんは
優しいっ!

司さんは
もつと優しい
んですか?

やっ

ズルッ
ズルッ
ズルッ
ズルッ
ズルッ



でも
物足りない
んだろ？

あつ、だめエっ！
ああアアッ！

ホントは
こうして
欲しかった
んだろ？

やっ

はっ

んっ



あぁっ
あッアッアッ!
ひっうはぁ!

あぁっ、
あ……っ!

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ

びんっ



んっ

よかったですね
司さんにイかせて
もらって

司さんにイかせて
もらったこと
無いんですか？

んっ

ズルッ
ズルッ

ズルッ
ズルッ

やつはあ！
んんんくふう
んんアアッ！

簡単に
イッちやう
なあ

はっ



ちがうのおオッ！
っ、かささんは
私を気持ちよ、くウ
……してくれてる！

はアアアアアあ
アアアつつつ！

の割に、
はえーんだよ！
早苗さん！

あ

あ

あ



もう限界だ、
早苗さん、
射精すよ

んくっはあ！
あっあああっ！

だ、めえっ……！！
しゅ、へえく……！！
今そんな、アア！

ズルッ
ズルッ
ズルッ

あっ

あっ

あっ



びゅびゅ
びゅびゅ
びゅるるるっ!





ああ、また中に
んっ、うう……

ぐわん
ぐわん

セクッ

ぐわん

セクッ

ぐわん

ぐわん



ダメ押しの
一突きっ

ズパッ!

「じゅ」

「じゅ」

んあッ

ふう、
早苗さん、
よかった
ですか?





つつつ……あ、
アア……！

は、あ……ああ
こ、こんなに……

ぬちゅ……

すけ



こんだけ射精
しておいて、
未だ臨戦態勢だ

もしかしてまだ
……などと考えた
かもしれない

ぬちゃ

ひん

ひん

ん

ぬちゃ

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー



胎内に
満ちていた
熱がシミを
作っていく

やがて緩んだ穴から
鈍く光る金属の輪が
波に乗って現れた

シロ

ひびく

ぬちゃ

くさ

たふ

たふ

たふ

たふ



おあおあ

ぽん

ぽん

んんん

んんん

んんん

ああああ……!!
いやああああ!!

おあ



あーあ、
司さんが出て
きちゃいました

なんてことするの
こんな……ひ、
ひどすぎるっ……

ゴッ……

ぐっ……

トロ……

ぬちゃ……

くっ……

はぁっ

はぁ

はぁ

はぁっ

我慢できずに
いきまぐって
何言ってるんだか

そう言っただけは
彼女のアラレも無い姿を
見下ろして、嗤った。





我に帰った早苗さんは、
俺に抱かれたまま、
しばらく嘔り泣き続けた。

～おしまい～